

卒業生を送り出して感じたこと①

この3月まで3年生の担任をしており、その経験から感じたことをまとめました。特に受験を控えた3年生はこの休校期間をどんな心構えで過ごしていますか、以下参考になればと思い書いてみました。

① 宅習時間を要求した（勉強不足と受験勉強の出遅れは致命的）

3年の担任を持った昨年度の4月、自分のクラスの勉強不足を痛感しました。1,2年生での勉強が不十分であったことに加え、受験体勢に突入できていない印象がとても強かったのです。「これはまずいぞ」と感じました。そこで**平日4時間、休日8時間の宅習時間**を確保することを強く要求しました。もちろんこれは家庭学習の時間ですから、休校中の現在、3年生には毎日8～10時間程度の家庭学習が必要だろうと思っています。目的をはっきり持った受験生（浪人生も含む）であれば「この期間にできるだけ差をつけておこう」と考える人が多くいることでしょう。受験は100m走と同じです。スタートが出遅れると追いつけません。まだ受験体勢に入っていないという人がいたら早くスタートを切ってください。

② その結果は？

上述したように、生徒にはやるべき宅習時間を明示して生徒に迫りました。当初はバラつきがありましたが、6月には6割くらい、9月に入ると8割以上の生徒が要求したくらいの宅習ができるようになりました。その結果、私立の入試で思った以上に合格し、国公立大学も担任の予想を上回る人数の合格者が出ました。そして最終的に1人も浪人生を出すことなく3月を終えることができました。ホッとしました。しかし「もう少し早く受験勉強を始めていたらもっとすごい結果を出せたはずなのに」という残念な思いが残りました。（もう1,2ランク上の大学に受かることができたはず）

（文責 岡崎）